

在宅ワークの業務内容はさまざまです。

例えば、次のような業務があります。

文書入力

テープ起こし

データ入力

ホームページ作成

設計・製図

デザイン

DTP※

プログラミング

翻訳

システム設計

※DTPとは、雑誌、書籍などの印刷物のデザイン、フォーマット作成などのことをいいます。

在宅ワークの実態

平成20年度厚生労働省委託事業「在宅就業調査報告書」((財) 社会経済生産性本部) より

全国にはどのぐらいの在宅ワーカーがいるのでしょうか。

2008年時点の在宅ワーカーの数は、**123万5千人**と推計されています。

その内訳は、専業で在宅ワークを行う人が87万2千人、
副業で在宅ワークを行う人が36万3千人です。

在宅ワークでどのぐらいの収入が得られるのですか。

自己決定レベル（報酬単位及び報酬決定手順においてどの程度在宅ワーカーが決定権を持っているか）によって、在宅ワークを分類し、その分類別に収入などを見てみると次のとおりです。
(以下の表にある数値はすべて中央値※です。)

自己決定レベル (代表的な業務)	在宅ワークによる 月収額	在宅ワークの 月間就業時間数概算	在宅ワークによる 時間換算収入額
ローレベル (データ入力、文書入力など)	3万円	50時間	857円
ミッドレベル (DTP、ライター、翻訳など)	6万円	90時間	1,057円
ハイレベル (Webデザイン、設計・製図など)	15万円	120時間	1,667円

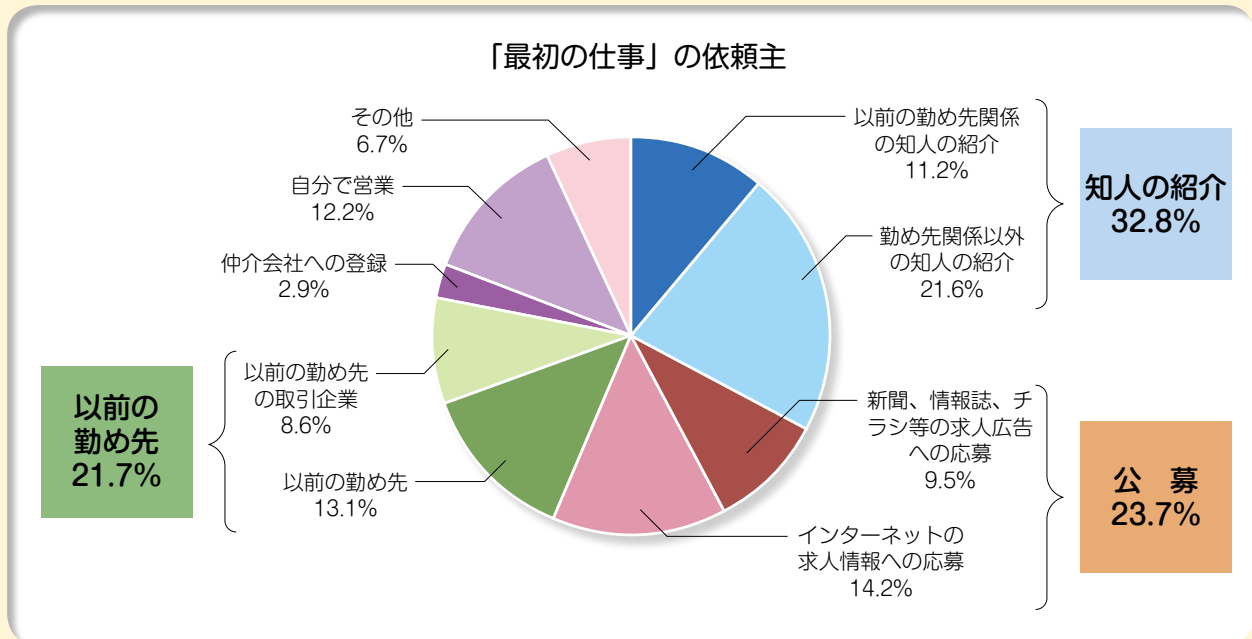
※中央値とは、データを小さい順に並べたとき、中央に位置する値です。



自己決定レベルが低い業務では、時間換算の収入額が低いようです。一方、自己決定レベルの高い業務では、就業時間数が多く、勤務経験や専門知識を生かしながら、複数の依頼主と直接交渉して報酬を含む契約条件を提示して、高い報酬を得る傾向にあるようです。

在宅ワークの最初の仕事はどのように見つけるのでしょうか。

在宅ワーカーに在宅ワークの「最初の仕事」の依頼主をどのように見つけたか尋ねたところ、「知人の紹介」関係が最も多く、「公募」、「以前の勤め先」関係が続きました。



在宅ワークをする際、どのようなトラブルが起こることがありますか。

在宅ワーカーに、経験したトラブルの内容を聞いたところ、最も多いものは、自己決定レベルがローレベルのものでは「仕事の出来具合」、ミッドレベルでは「仕事の納期」によるものでした。

一方、ハイレベルでは「報酬の未払い・遅延」「契約内容や仕様の一方的な変更」などの発注者側の都合によるものの割合が高くなっています。

トラブルの内容には、発注者側の都合によるもの、在宅ワーカーの都合によるものの両方があるようです。一度トラブルになると、交渉に時間を取られるし、場合によっては取引がなくなってしまうかもしれません。

次のページから紹介している、在宅ワークの仕事の流れや契約上の注意点、先輩ワーカーからのメッセージなどを参考にして、在宅ワーカーとしてのチカラをつけましょう！

